

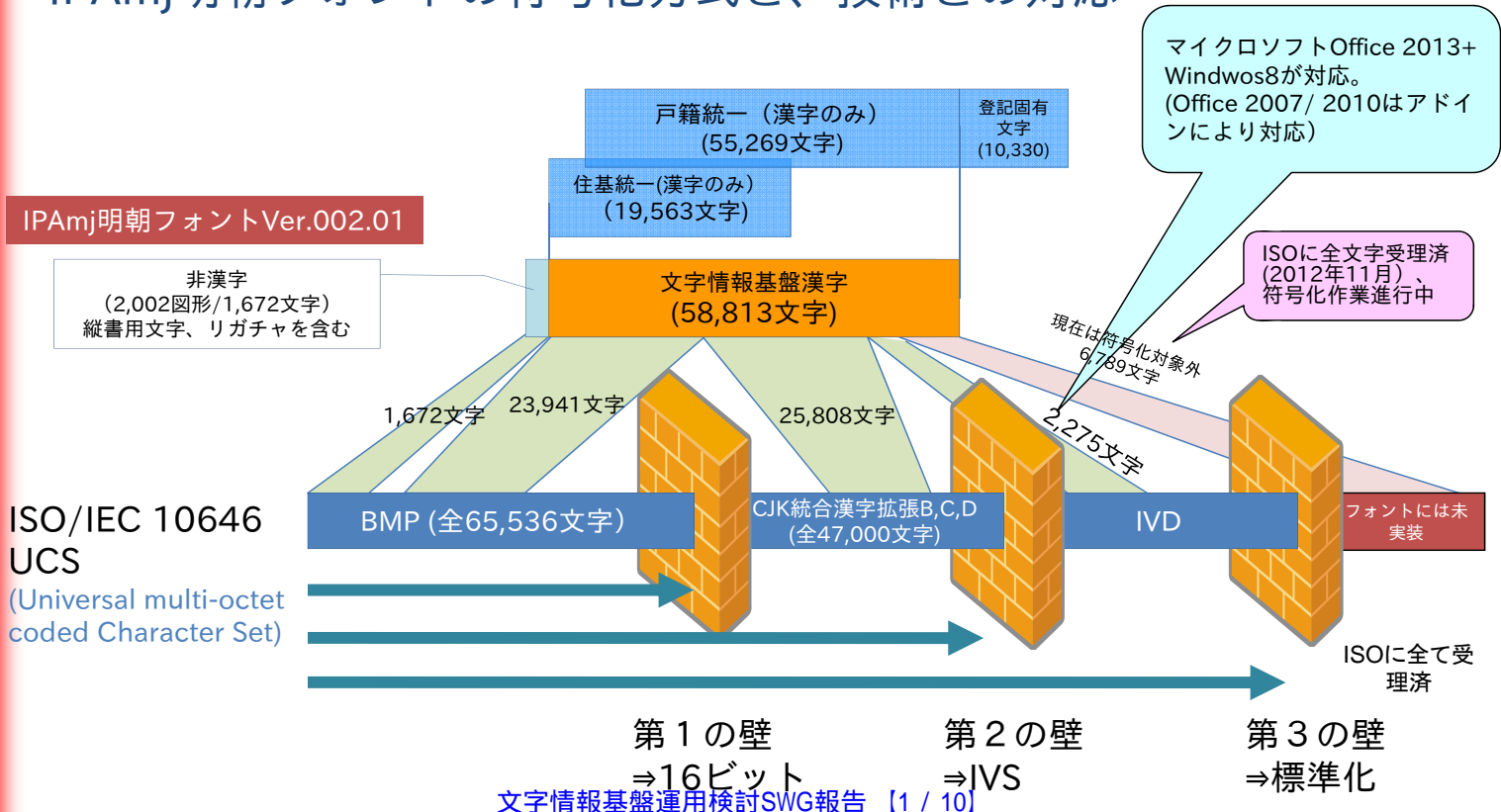
# 「文字情報基盤導入ガイド」の方針案

2013年9月

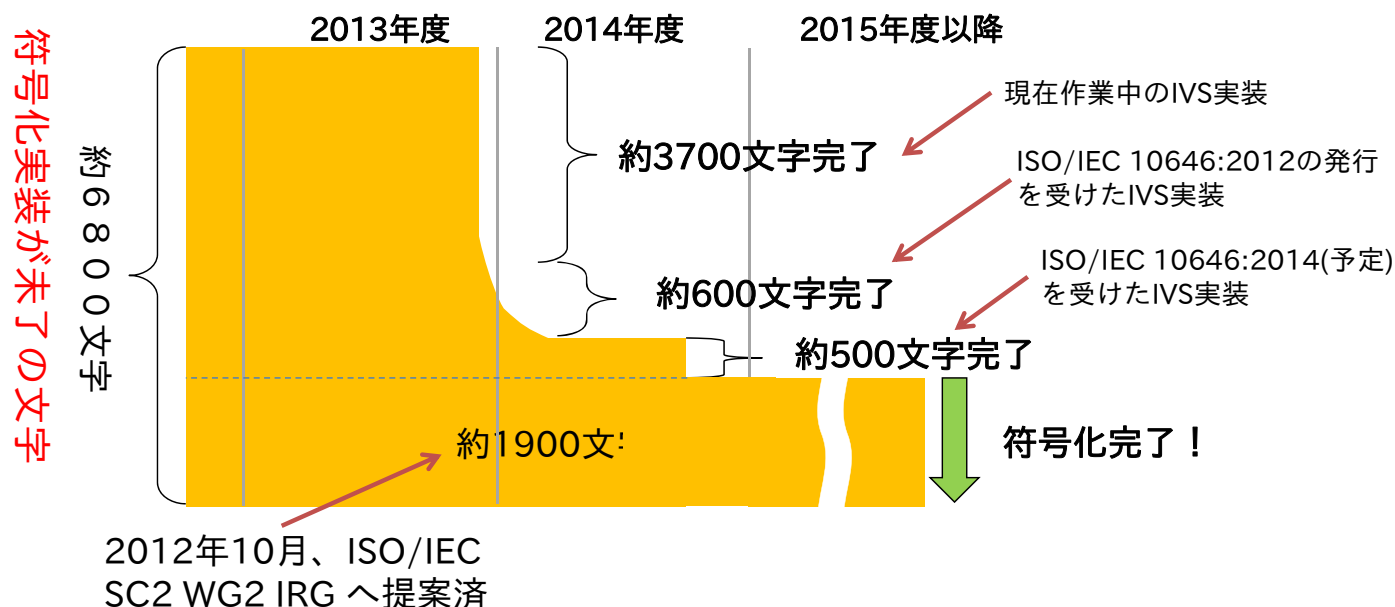
独立行政法人 情報処理推進機構

## 技術的背景(1)

### IPAmj明朝フォントの符号化方式と、技術との対応



## IPAmj明朝フォント実装計画



## 導入ガイドの目的

- 「閣議決定」の方針に従い、今後整備する情報システムに文字情報基盤を活用するにあたっての、典型的な具体的導入手順、運用法等を明らかにする。
- 今後、文字活用に係る調達仕様等を策定するにあたって、参考となる資料（技術モデル）とする。
- 今後、文字に係るシステムを運用するにあたって、参考となる資料（運用モデル）とする。

- 国際標準と矛盾しない技術的指針を示す
- 経済合理性を考慮した技術的指針を示す
  - 既存システムとの共存
  - 低い導入コスト
- 技術の進展、標準化の進展に沿った工程案を示す
- 文字そのものの運用ポリシーはスコープ外とする
  - 別途法律等で定められている方針に従う

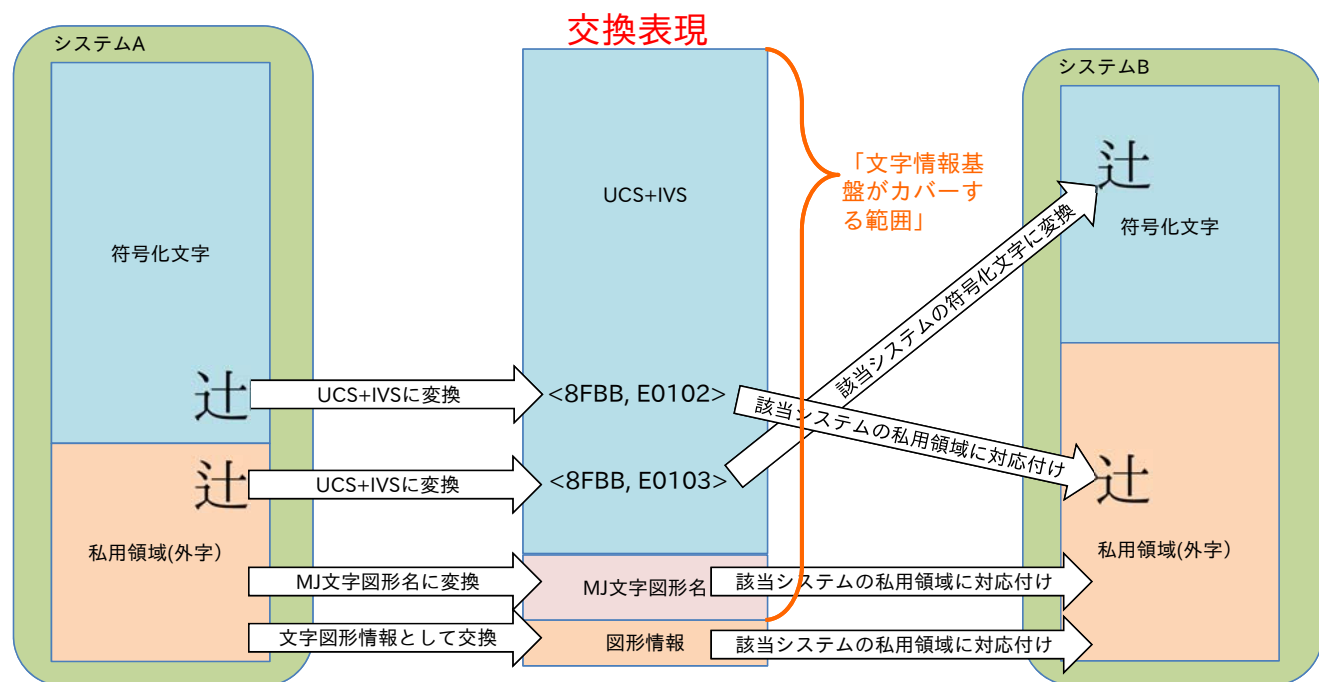
- 組織内部
  - 短期的：現状の文字体系を変えない
  - 中・長期的：IVSを使用可能なシステムの導入を図る
- 政府の組織間、自治体間
  - 短期的：IVS+MJ文字図形名+図形情報を交換できる統一的な「交換表現」の導入
  - 中・長期的：IVS+図形情報を交換できる統一的な「交換表現」の導入

- 組織外との情報交換（表示の場合）
  - 短期的：JIS X 0208+図形<sup>(\*)</sup>
  - 中期的：JIS X 0213（UCSによる符号化）+図形<sup>(\*)</sup>  
（Webによる情報交換等の場合、サービスとして、MJ文字図形名をメタデータとして添付することを検討）
  - 長期的：IVS+図形<sup>(\*)</sup>（戸籍が手書きで記載されている等の場合に限られる）
- 組織外との情報交換（入力の場合）
  - 短期的：JIS X 0213に限定し、別途手動による入力手段を用意
  - 中・長期的：IVSを受け入れ、別途手動による入力手段を用意

(\*) 国際標準に則った図形交換方式を採用する

6

## 「交換表現」のイメージ



◇ 符号化文字の集合としてはJIS X 0208, JIS X 0213, UCSなどが想定される。規格により例示字形が異なる場合があることに留意する。

◇ 既存システムの私用領域(外字)には、UCS、IVS、MJ文字図形に対応するものがあることに留意する。

◇ 複数のシステム間で文字情報を交換する際には、原則として文字情報基盤文字情報一覧表のMJ文字図形名もしくは対応するUCS符号位置及びIVSを用いる。

◇ MJ文字図形名を図形情報の固有名として用い、外部の文字図形データベースへの参照データとして用いてもよい。

◇ UCSから該当システムの符号化文字に変換する際、縮退対応(複数のUCSを単一の該当システム符号位置に対応させ、再度該当システムからUCSへの対応付けを行うと、双方向での情報の保全是保証されていない)ことに留意する。

## 「文字セットを定義する規格」の必要性について

2013年9月

独立行政法人 情報処理推進機構

### 背景

コンピュータで使う文字を指定するためには

1. コーディングスキーム (ISO/IEC 10646 UCS等)
2. エンコーディングスキーム (UTF-8等)
3. 文字セット

の3つを指定する必要があるが、行政で使用する文字図形（グリフ）のセットを指定するにあたって3)に適切な規格が無く、そのため政府・自治体等での情報システム調達等で混乱を招いており、また、相互運用性に問題が生じている。

- 行政場面に応じたいくつかの文字図形の集合
  - 常用漢字
  - 文字情報基盤文字  
(住民基本台帳ネットワーク統一文字と戸籍文字との和集合)
  - その他 (要検討)

を規定し、電子行政に係るシステム調達等において、文字に係る要件を客観的に正確に指定できるようにする。

10

## 期待される効果

- 情報システムの調達にあたり、文字に係る要件を、特定の実装を指定することなく、規格によって客観的に指定できる。
- 規格に沿ったフォントを自由に製品化できるため、フォントや関連情報製品/サービスに係る市場の活性化が期待される。

- 電子政府で用いる（べき／ことのできる）グリフ（文字図形）の集合を規定する。
- 新たな符号化は行わず、既存の規格：
  - 文字符号についてはISO/IEC 10646
  - IVSについては、IVD<sup>(\*1)</sup>を参照する。

(\*1)<http://www.unicode.org/ivd/>





平成 25 年度文字情報基盤

## 運用検討 SWG 委員名簿

(2013 年 9 月 13 日現在)

## 主査

楠 正憲 内閣官房 社会保障改革担当室 番号制度推進管理補佐官

## 委員

牛込 英樹 富士通株式会社 ミドルウェア事業本部データマネジメント・  
ミドルウェア事業部第五開発部 マネージャー

大山 水帆 川口市情報政策課 課長

荻野 敦 財団法人地方自治情報センター 住民基本台帳ネットワークシ  
ステム全国センター システム担当 主席マネージャ

小久保 明彦 富士ゼロックスシステムサービス株式会社 公共システム事業  
部ソリューション推進部 部長

田丸 健三郎 日本マイクロソフト株式会社 技術統括室/イノベーションセ  
ンター 本部長

平林 元明 株式会社日立製作所 公共システム事業部 公共イノベーショ  
ン事業推進本部 主管

平本 健二 経済産業省 CIO 補佐官

安田 雅義 新宿区総合政策部情報政策課

吉本 明平 日本電気株式会社 公共ソリューション事業部 マネージャー

## 事務局

田代 秀一 情報処理推進機構 国際標準推進センター長

小林 龍生 情報処理推進機構 国際標準推進センター専門委員

沼田 秀穂 情報処理推進機構 国際標準推進センター専門委員

池田 佳代 情報処理推進機構 国際標準推進センター専門委員

武藤 圭祐 情報処理推進機構 国際標準推進センター

